

# 【新規】川崎市新多摩川プランの概要

計画名	川崎市新多摩川プラン（H28.3策定）		
提出機関名	川崎市	対象地域	川崎市域の多摩川流域 (中心は川崎市占用区域110ha)
メイン課題	水辺空間、治水、教育・普及啓発		
計画概要	「自然と調和した美しい多摩川へ」、「多摩川を知り災害から市民を守る」、「子どもの生きる力を育む場の創造」等を基本目標としつつ各種施策を推進することで、「川とふるさとの再生 市民協働による多摩川ライフの創造」を目指す。		
計画の特徴	多摩川は限りない可能性を有した存在であり、大都市の中を流れる自然豊かな大河川で「川崎の母なる川」。市民共有の財産として再評価し、豊かな河川環境を創出するため、市民・企業・学校・行政それぞれの主体が協働しながら、より魅力的で豊かな多摩川を持続的に育むしくみづくりを目指す。		



※青点線は多摩川流域と鶴見川流域の境

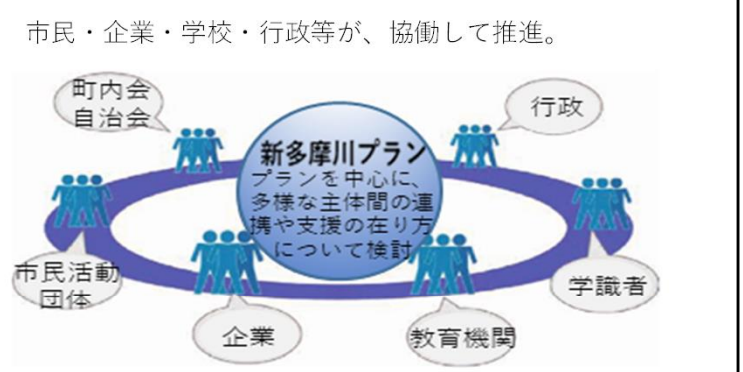
計画対象地域  
(川崎市域の多摩川流域)  
(中心は川崎市占用区域110ha)

## 【実施体制】 川崎市（計画策定主体）

地方公共団体	都道府県	-
	政令指定都市	○
	市区町村	-
国の地方支分部局		○
有識者		○
事業者		○
団体（NPOなど）		○
住民		○
その他（ ）		-

○計画体系	
基本理念	「川とふるさとの再生 市民協働による多摩川ライフの創造」
基本目標	推進施策
I 自然と調和した美しい多摩川へ	河原風景の保全、円花と緑のある川づくり推進、生物多様性の保全に向けた普及啓発等の推進 等
II 多摩川を知り災害から市民を守る	治水の強化・防災性の向上、防災教育の推進、防災訓練の実施、防災情報の発信 等
III 子どもの生きる力を育む場の創造	「ふるさと資産・遺産」の活用、環境学習・環境教育の推進、水辺楽校の展開 等
IV 多摩川とともに歩むみんなの暮らし	アクセスの向上、サイクリングコースの充実、施設の充実、河川空間の新たな利用促進 等
V つながりを深めて魅力的な流域へ	多様な主体を支えるシステムづくり、イベントの開催、数合的な情報共有・受発信 等

## ○推進体制



## ○進行管理

- プランの進行管理と評価などを行うため、市民、NPO、企業、学識者、川崎市等による推進組織を設立し、課題整理や進行管理を検証しながら事業を推進。
- 推進状況は市民に公表し、計画に反映。